



4・5月号

発行所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館1階 公益財団法人茨城県消防協会 編集発行人 消防協会長 葉梨 衛 印刷所 (有)堀口印刷 1部 15円 (購読料は負担金に含まれています)

令和五年度 定時評議員会・臨時理事会を開催 新役員等が決まる

令和五年五月二十六日(金)に、セキショウ・ウェルビーイング福祉会館において、「令和五年度定時評議員会」及び「臨時理事会」を開催しました。

定時評議員会では、五月十日(水)開催の「令和五年度第一回定時理事会」で承認された「令和四年度事業報告」及び「会計決算」が承認されたほか、任期満了となった「理事、監事及び評議員」に、次の方々が選任されました。

また、その後開催した臨時理事会において、新たな理事の中から、「会長、副会長及び専務理事」が次のとおり選任されました。

〔公財〕茨城県消防協会役員等

- 会長 葉梨 衛 (茨城県消防協会)
副会長 嶋田 清 (笠間市消防団)
小野 國光 (北茨城市消防団)
根本 幹士 (潮来市消防団)
仲川 紀男 (阿見町消防団)
久松 弘叔 (かすみがうら市消防団)
沢木 清司 (八千代町消防団)
大内 康弘 (水戸市消防本局)
宗像 達夫 (茨城県消防協会)
小川好市郎 (常総市消防団)
岩田 潔久 (取手市消防団)
山岡 恒夫 (牛久市消防団)
岡山 勝彦 (常陸大宮市消防団)
住谷 啓二 (那珂市消防団)
塚田 俊夫 (筑西市消防団)
宮部 誠 (坂東市消防団)

監事 評議員

- 金子 隆彦 (桜川市消防団)
青野 浩 (神栖市消防団)
浅野 了 (つばみらい市消防団)
木名瀬裕一 (小美玉市消防団)
谷田部公市 (大洗町消防団)
根本 一成 (東海村消防団)
藤田 稔 (大子町消防団)
高橋 博志 (美浦村消防団)
松本 明夫 (河内町消防団)
飯嶋 富雄 (利根町消防団)
綿引 孝学 (日立市消防本部)
青木 孝徳 (つくば市消防本部)
江幡 光陽 (茨城町消防本部)
稲葉 英夫 (結城市消防団)
銭谷 幸男 (つくば市消防団)
市村 正明 (筑西広域消防本部)
川津 文昭 (水戸市消防団)
川井 健一 (日立市消防団)
川崎 隆義 (土浦市消防団)
井上 功 (古河市消防団)
櫻井 健 (石岡市消防団)
渡邊 孝 (龍ヶ崎市消防団)
寺田 光浩 (下妻市消防団)
佐藤 信照 (常陸太田市消防団)
熊代 正明 (高萩市消防団)
埴 健一 (ひたちなか市消防団)
生井澤郡司 (鹿嶋市消防団)
石塚 和典 (守谷市消防団)
稲箸 稔 (稲敷市消防団)
阿部 浩幸 (行方市消防団)
根本 将夫 (鉾田市消防団)
江橋 康夫 (茨城町消防団)
大崎 一夫 (城里町消防団)
篠塚 松男 (境町消防団)
檜山 保明 (土浦市消防本部)
鈴木 淳司 (石岡市消防本部)
後藤 一人 (常陸太田市消防本部)



定時評議員会の議事の様子

- 小松 力雄 (高萩市消防本部)
多田 幸一 (北茨城市消防本部)
蘭田 恵一 (笠間市消防本部)
岡田 直紀 (取手市消防本部)
片岡 秀樹 (常陸大宮市消防本部)
小田部 茂生 (那珂市消防本部)
片岡 修 (かすみがうら市消防本部)
井坂 茂樹 (小美玉市消防本部)
國井 一豊 (大洗町消防本部)
鈴木 一宏 (大子町消防本部)
片倉 智行 (茨城西南消防本部)
岡野 一夫 (常陸広域消防本部)
岸田 貴史 (鹿行広域消防本部)
永井 隆 (稲敷地方消防本部)
高木 健 (ひたちなか・東海消防本部)

なお、昨年度をもって退団された消防団長十名に対し、「第一回定時理事会」等において、会長から「感謝状の盾」が贈呈されました。

《退団された消防団長》

- 菊田 信夫 (古河市)
堀越 武 (龍ヶ崎市)
高橋 周一 (下妻市)
土信田政司 (つくば市)
内野 健史 (鹿嶋市)



正副会長の皆様



退団された消防団長の皆様

- 酒井 正一 (かすみがうら市)
大槻 高志 (鉾田市)
飯山 幸一 (茨城町)
森田 宏二 (城里町)
加藤 正則 (境町)

令和五年 春の叙勲・褒章

令和五年春の叙勲・褒章受章者が四月二十九日(土)に総務省から発令されま...

《春の叙勲》

【瑞宝小綬章】

- 石塚 儀彦(七十) 常総広域 消防正監
元 常総市在任
柳橋 勉(七十) 元 ひたちなか・東海広域 消防正監
元 ひたちなか市在任

【瑞宝単光章】

- 飯塚 信夫(七十二) つくば市消防団 副団長
元 つくば市在任
海老沢 正巳(七十) 元 筑西市消防団 副団長
元 筑西市在任
大橋 勇(七十二) 元 荻崎町消防団 団長
元 筑西市在任
大畑 亀久夫(七十二) 元 筑西市消防団 副団長
元 筑西市在任

《第四十回危険業務従事者叙勲》

【瑞宝双光章】

- 石塚 英充(六十八) 元 土浦市 消防司令長
元 土浦市在任
市村 健一(六十五) 元 つくば市 消防監
元 つくば市在任
榎本 雅裕(六十五) 元 稲敷広域 消防監
元 稲敷市在任

【瑞宝単光章】

- 葛巻 雅広(六十五) 元 鹿島地方事務組合 消防監
元 鹿島市在任
鹿嶋市在任

- 小林 義美(六十七) 元 ひたちなか・東海広域 消防監
元 東海村在任
杉山 洋一(六十六) 元 笠間市 消防司令長
元 笠間市在任

【瑞宝単光章】

- 武田 弘(六十七) 元 稲敷広域 消防監
元 稲敷市在任
田中 寿幸(六十五) 元 つくば市 消防監
元 つくば市在任
根本 藤夫(六十五) 元 稲敷広域 消防監
元 稲敷市在任

【瑞宝単光章】

- 日下野 甚一(六十七) 元 取手市 消防司令長
元 取手市在任
由岐 良知(七十一) 元 西南広域 消防監
元 西南市在任
奥山 昌弘(七十六) 元 西南広域 消防司令
元 西南市在任

【瑞宝単光章】

- 金子 一行(七十四) 元 常陸大宮市 消防司令長
元 常陸大宮市在任

- 軍司 節夫(七十二) 元 日立市 消防司令長
元 日立市在任
鴻巣 一司(六十九) 元 稲敷広域 消防司令
元 稲敷市在任

【藍綬褒章】

- 松本 昭(七十五) 元 西南広域 消防司令
元 西南市在任
柳生 昇(七十三) 元 日立市 消防司令長
元 日立市在任

【藍綬褒章】

- 高橋 博(六十二) 現 河内町消防団 団長
元 河内町在任
塚田 俊夫(七十) 現 筑西市消防団 団長
元 筑西市在任

【藍綬褒章】

- 宮部 誠(五十八) 現 坂東市消防団 団長
元 坂東市在任







今年度の消防職員初任教育は昨年度に引き続き二期制となり、まず前期の第十五期入校式が、四月十日(月)午前十時三十分から県立消防学校において、県内一消防局・二十消防本部から総勢九十一名の学生を迎え挙行されました。

式典は、学生宣誓に続き、式辞(本橋学校長)、知事生告辞(館消防安全課長)、続いて県消防協会(葉梨会長)、消防長会(大内会長)の来賓祝辞がありました。

今後、消防学校において、心身の鍛錬と消防職員として必要な知識・技能を習得し、半年後には、新時代にふさわしい消防の担い手として巣立っていくことを祈念します。



葉梨会長祝辞



第115期 初任科入校生



学生宣誓



日本消防協会主催による第二十二回消防団幹部候補中央特別研修が、次の日程で実施されました。

○男性消防団員の部

令和五年二月一日(水)～三日(金) (二泊三日)  
(参加者) 阿見町消防団

分団長 浅野 洋一  
指導員 塚原 一男  
指導員 栗田 敏昌

○女性消防団員の部

令和五年二月十五日(水)～十七日(金) (二泊三日)  
(参加者) 水戸市消防団

団員 生井沢 康代  
団員 田中 貴子

今回の研修に本県から参加された方々を代表して、男性消防団員の部の浅野洋一さんと女性消防団員の部の生井沢康代さんからの寄稿文をご紹介します。



阿見町消防団 分団長 浅野 洋一

令和五年二月一日から三日までの三日間、公益財団法人日本消防協会主催の「第二十二回消防団幹部候補中央特別研修」が東京都港区新橋にあるAP新橋に於いて開催されました。

今回の研修はコロナ流行以降久しぶりの開催にも関わらず、全国から百十六名もの熱意ある参加者が集結し、茨城県からは私を含めて三名が、県を代表

して参加させていただきました。

研修では、日本消防協会の秋山協会長の話から始まり、消防庁地域防災室長や千葉県館山市消防団長、東京理科大学総合研究所教授、BCoP防災・危機管理トレーニング主宰、国土館大学防災救急救助総合研究所教授など、錚々たる方々からご教授いただきました。

これら講義はもろろんですが、今回の研修で特に有意義であったと感じたのは、毎日実施したグループ討議です。今回の研修では「若年層の団員確保対策について」「サラリーマン化が進む中での効果的な活動方策について」「消防団の訓練の在り方について」「消防団活動の問題点と解決策について」「消防団を中核とした地域防災力の充実強化対策について」の五つについて、各議題について二班、合計十班で各々討論を重ねました。

私は、北は岩手から、南は沖縄と、全国各地から選りすぐりの団員計九名のグループで、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化対策」について討議を行いました。この課題の討議の前提として、各自の所属する消防団で抱える課題点などについて紹介しましたが、確かに地域ごとに差異はあれど、根本的などころでは団員不足や操法競技大会についての疑義を始めとした訓練錬成に係る不足等の問題点を抱えているという事が判明しました。地域防災力の充実強化のためには、消防団自体の能力向上が不可欠ではありますが、数値でもわかりやすく手軽にできる手法の一つとして挙げられる、より有益・高効率なドローンをはじめとした各種高性能資機材等装備品の充実を実施したとしても、それを全ての消防団員が習熟するための訓練を行うには、団員のサラリーマン化に伴い訓練時間の確保が困難な状況が課題になりますし、そもそも団員が減少している中で消防団としての作業要領を増やせるのか、災害時等に中核として活動できるほどの人員を確保できるのかという問題もあります。また、辛うじて確保できた時間も、操法競技大

会で一秒を削り高得点を取るための練習に充てている現状は、持ちうる時間を有効活用していると言えるのか等、様々な問題が根幹に渦巻いていて複雑怪奇に絡み合っているという現状が読み解けました。

これらの状況について解決するため、家族も含めた団員の福利厚生向上や、自主防災組織等地域の防災組織との連携、操法競技大会の抜本的な見直しなど、様々な対策案について検証・討議を重ねられ、時間外も厭わず熱く議論を交わしました。

この研修に参加して、全国の幹部候補者たちと熱く意見を交わす中で、今後も消防団活動をより充実させて効果的に継続していくためには、額面だけでなく消防団の現実をよく精査し、既存概念に囚われずに、このコロナ禍から再び立ち上がるのを機にスクラップ&ビルドを図っていく必要があると感じました。昨今、消防団については様々な事がニュースなどで取り上げられますが、地域防災力の要として消防団をより良く洗練していくことで、より一層の地域貢献に努めていきたいと思えます。

最後に、今回の研修に参加し、全国の熱い仲間と団結したことで、消防団に対する思いがより一層強くなりました。このような貴重な体験の場を戴けたことに感謝しつつ、今後の消防団活動に活かしていく所存です。ありがとうございます。

【第二回消防団幹部候補中央特別研修】に参加して



水戸市消防団 団員 生井沢 康代

令和五年二月十五日〜十七日の三日間、東京都港区のAP新橋において行われた

公益財団法人日本消防協会主催の第二回消防団幹部候補中央特別研修の女性消防団員の部に参加させていただきました。

始めに、会場に全参加者六十六名が集合し、開講式が行われました。秋本敏文日本消防協会会長による講話があり、災害の様相の変化への確に対処するために、地域と密接につながる消防団の役割の重要性が増しているとの話を聞き、全参加者が気持ちを新たにしました。その後、参加者は十班に分けられ、与えられたテーマに沿って熱心な討議を行いました。私の班のテーマは「消防団を中核とした地域防災力の充実強化対策」でした。

二日目の午前中は、東京都復興記念館(関東大震災の惨禍を後世に伝え、官民協力し焦土と化した東京を復興させた当時の事業を記念するため昭和六年に建てられた施設)の視察研修でした。数々の資料や遺品等が展示され、震災被害、救護、復興の様子が一目で見て取れました。午後からは課題討議の後に、一般社団法人リスクウォッチ代表の長谷川さん、消防庁国民保護・防災部地域防災室佐藤室長、兵庫県立大学大学院阪本教授の講義でした。阪本教授は、自らの被災経験を踏まえた避難の大切さ、普段の取り組みの重要性、障害者や高齢者、小さなお子さんのいる家庭や外国人対策等、女性の視点による非常に興味深いお話しでした。最終日の午前中は、最後の課題討議と、その後、元東京消防庁高輪消防署長の谷口由美子さん、国士舘大学の山崎豊教授の講義でした。谷口さんが、防災を人と人のつながり作りのための手段とする、と話されていたことが心に残りました。午後は課題テーマの発表で、私たち十班は要介護者や高齢者、一人親世帯等の個人情報に配慮しつつ、地域の交流を図りながら子供たちに消防活動や救急救命を普及し将来の人材育成につなげて行くこととの結論になりました。水戸市の防災ラジオの紹介と普及促進も一行加えま

した。三日間という短期間ではありましたが、

たくさんの人と出会い、他の地域の状況を知ることができました。今後は女性消防団員として、講義で得た知識等を自分たちの活動に活かしていきたいと思えます。最後になりましたが、本研修に参加させていただき本当にありがとうございました。



編集後記

新年度から二ヶ月が過ぎ、協会の各事業も本格的に始まりま

オリジナル Tシャツ
アポロキャップ
徽章類
消防グッズ各種
水戸スポーツ株式会社
水戸市袴塚1-1-2
TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

全国シェアNo.1の消防車メーカー
(株)モリタの各種消防自動車
小型動力消防ポンプ・消防用ホース
救助資機材・潜水機材・消防用被服
防災用品・消防用品・消防資機材
茨城県代理店
有限会社 鈴 機
〒315-0014 石岡市国府5-2-25
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic
自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCF設備
FAX、パソコン
パナソニック株式会社 特機商品代理店
株式会社入江電機工業所
本社 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614(代表)
TEL.029-224-4613
土浦営業所 土浦市並木1丁目2番20号
TEL.029-821-8498(代表)
TEL.029-822-6575

トーハツ 小型消防ポンプ
VE90AS 最大量1.5m³毎分
VC72PROIII 操法最適
VF63AS 4ストローク B2級
VF53AS 4ストローク B3級
VF21AS 4ストローク C1級
消防服装 消防器 防災備蓄食品
船外機 発電機 消防資機材
茨城県代理店
トキワ産業株式会社
水戸市三の丸3丁目7番1号
TEL.029(224)3324(代) FAX.029(224)3360